

【議案第2号】
令和5年度地域公共交通確保維持改善事業
(フィーダー補助・計画策定事業)の事業評価(自己評価)について

1 議案概要

今年度、本協議会は令和5年度地域公共交通確保維持改善事業補助金のうち、2種類の国庫補助金の交付を受ける予定です。

【交付予定補助金】

(1) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

⇒コミュニティバス・乗合タクシーの運行費に対する補助

(2) 地域公共交通計画策定事業補助金

⇒地域公共交通計画の策定にかかる費用に対する補助

これらの補助金の交付を受けるにあたっては、事業評価（自己評価）をすることが義務づけられています。

このことから、それぞれの補助事業の自己評価について、次ページ以降のとおり取りまとめたので、内容について審議いただきたい。

2 自己評価の内容

次ページ以降のとおり

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年12月 日

協議会名： 指宿市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
鹿児島交通(株)	コミュニティバス(イッシーバス)の運行 (1) 小牧～ニシムタ指宿店線 (2) 川尻～なのはな館線		A 計画どおり適切に実施した。 A 計画どおり適切に実施した。	A 目標どおりの乗車率を達成することができた。 A	■令和6年3月策定予定の指宿市地域公共交通計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。 ■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 (1) 指宿市のりものガイドの発行 (2) 出前講座や住民との意見交換会の実施 (3) 地域の方の要望に応じ、随時運行ルートの変更等を行う。 (4) 利便性の向上を図るため、他の交通モードへの転換を検討する。
指宿観光交通(株)	予約型乗合タクシーの運行 (1) 畠久保・西方線		A 計画どおり適切に実施した。	A 目標どおりの乗車率を達成することができた。	
鹿児島第一交通(株)	予約型乗合タクシーの運行 (1) 池田線		A 計画どおり適切に実施した。	A 目標どおりの乗車率を達成することができた。運行区域が拡大されたことによる効果大きい。	
(株)鹿屋自動車学校	予約型乗合タクシーの運行 (1) 魚見線 (2) 鰻線 (3) 尾下線		A 計画どおり適切に実施した。 A 計画どおり適切に実施した。 A 計画どおり適切に実施した。	C 利用者の移動日時にばらつきがあるため、乗合率が低くなっており、魚見線及び鰻線において目標を達成できなかった。 C A	
(株)南九州あづま交通	予約型乗合タクシーの運行 (開聞線)		A 計画どおり適切に実施した。	A 目標どおりの乗車率を達成することができた。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和5年12月 日

協議会名:指宿市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針
(1)指宿市の地域及び公共交通の現状整理 ○内容:指宿市の地勢、人口分布、主要施設分布、上位関連計画、公共交通網の概況など、地域公共交通計画の検討にあたって必要となる基礎情報について、既往データを基に現状整理を行う。 ○結果:上記内容を確実に実施した。 (2)市民ニーズ調査 ○内容:市民の日常生活での移動実態、公共交通の利用状況、今後の公共交通への要望把握等を目的に以下の調査を実施し、結果の整理・分析を行う。 ①自治会長アンケート調査、②市民アンケート調査、③主要施設ヒアリング調査、④高等学校アンケート調査、⑤イッシーバス及び路線バス利用者ヒアリング調査、⑥JRR指宿枕崎線利用者ヒアリング調査、⑦あいタク利用者アンケート調査、⑧山川港利用者アンケート調査、⑨観光客アンケート調査 ○結果:上記内容を確実に実施した。 (3)交通事業者ヒアリング調査 ○内容:市内で運行する鉄道・バス・タクシー・船舶等の交通事業者を対象に公共交通の現状、今後の意向等の把握を目的としてヒアリング調査を実施。 ○結果:上記内容を確実に実施した。 (4)観光団体ヒアリング調査 ○内容:指宿市の観光産業を取り巻く現状、公共交通等の移動サービスに対する意向把握等を目的としてヒアリング調査を実施。 ○結果:上記内容を確実に実施した。 (5)指宿市公共交通を取り巻く問題点・課題の整理 ○内容:各種調査結果をふまえ、今後の地域公共交通における問題点を分析し、取り組むべき課題を整理する。 ○結果:上記内容を確実に実施した。 (6)地域公共交通計画素案の検討 ○内容:上記検討結果をふまえ、指宿市地域公共交通計画(案)を取りまとめる。 ○結果:上記内容を確実に実施した。 (7)地域公共交通活性化協議会の開催 ○内容:計画素案の検討にあたって、調査内容や調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催する。 ○結果:令和5年6月に第1回、10月に第2回、12月に第3回を開催した。 (8)パブリックコメントの実施 ○内容:計画素案に関するパブリックコメントを実施する。 ○結果:令和6年1月～2月に実施した。 (9)地域公共交通計画の策定 ○内容:パブリックコメントにおいて寄せられた意見を踏まえ、地域公共交通計画を策定した。 ○結果:令和6年3月に策定した。	A 調査事業は計画どおり適切に実施された。	パブリックコメントを実施し、令和6年3月に指宿市地域公共交通計画を策定した。 ■基本理念■ 地域で「つなぐ」公共交通で、未来へ続く健幸のまちへ！！ ■基本方針(計画の目標)■ 【目標1 変わりゆく時代においても、指宿市で暮らし続けるための公共交通の全体最適化】 ・日常生活を支える施設へのアクセス・通勤通学の移動手段の確保 ・人口減少・高齢化の進行を考慮した効率的な公共交通の再構築 ・効率化・利便性向上のための新技術導入の検討 【目標2 「観光地指宿」としての公共交通サービスの提供、情報提供による利用促進】 ・市内観光地の周遊環境の改善 ・公共交通を活用したパッケージ商品等による利用促進 ・外国人観光客に配慮した多言語対応 【目標3 地域の多様な関係者の「共創」による、持続可能な公共交通体系の構築】 ・事業者・行政が連携した事業継続性確保の方針 ・まちづくりと一体となった公共交通体系の構築

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年12月 日

協議会名：	指宿市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	当市は、薩摩半島の南端に位置し、鹿児島市及び南九州市へ通じる地域間幹線交通である鉄道及び路線バスを軸に、市域内に路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーにより構成される公共交通機関網が広がっている。これらの公共交通については、車を運転できない高齢者等を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。 また、地域間幹線交通に通じる路線バス、コミュニティバスが支線の役割を果たしており、市内周辺部から市内中心部を結ぶ地域住民の移動手段となっており、同時に、当該路線が市内に点在する観光地を結んでいることから、観光客の移動手段としての性格も併せ持っている。 上記の交通機関でカバーできない地域には、予約型乗合タクシーを導入することで、上記の公共交通を補完する体制を構築している。 しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、当市の公共交通機関の利用者は減少を続け、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民の外出控えや観光客数の激減が、公共交通事業者の収支悪化に拍車をかけている。 このため、地域公共交通確保維持事業により、指宿市コミュニティバス(イッシーバス)及び指宿市予約型乗合タクシー(あいタク)を確保・維持し、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。